

明石市立複合型交流拠点ウィズあかし 指定管理者：一般財団法人明石コミュニティ創造協会（2017年度より）
（明石市生涯学習センター、あかし男女共同参画センター、あかし市民活動支援センターで構成）

- コンセプト 出会い・学び・楽しみ・活かす「複合型交流拠点」
- 協働 市民参加、市民との協働を基本に運営、事業企画している（市民、指定管理者、行政の協働）。
- 機能
 - ・施設・設備（図書、印刷室、ロッカー等）を利用する
 - ・サポートを受ける（情報収集する、イベント・講座に参加する、相談・コーディネートを受ける、グループ登録し登録団体としてのサポートを受ける、活動情報を発信する、講師を探す）
- 特徴

上記3施設の複合で運営されており、複合型イベント・講座の実施等、相互に協力連携し合う体制がある（3施設とも同じ指定管理者）。

市民参加の運営を目指し、運営委員会14人が年3回の会合を持つ。また、サポーター制度を設け事業の企画実施に参画できる（45人）。
- 施設 ホール（293人）、リハーサルスタジオ、会議室13室（8～66人）、調理実習室、音楽練習室
フリースペース、保育室、ブース
- 位置 JR明石駅、山陽電鉄明石駅前 徒歩3分、アスピア明石北館7～9階
- 来館者 265,171人（2019年度）、開館日数308日間。
- 登録団体 245団体

- 助成事業 ウィズあかし市民活動ステップアップ助成（総額60万円程度、15団体程度）
- 企画公募

市民企画—あなたと学ぶ「みんなの講座」企画募集。市民の特技や学習成果を活かした講座の企画を募集。採用された企画に対して会場の確保や広報を支援。講師デビューを応援する。講師企画を応募する本人が講師となり講座を開講。内容は、料理・工作・健康・子育てなど暮らしに役立つものから、文化・歴史・語学・美容などの趣味を広げるものまで。2019年度は37講座。年に一度集中的に開講する「みんなの学校」も開催。
- まちナビ AKASHI ウィズあかし登録団体や28の小中学校区のまちづくり協議会情報、明石市内で開催される様々なイベント情報をトップページで一覧できるようにし、つながるきっかけを作っている。

■明石市生涯学習センター

- ・あかし楽歴史講座（明石の歴史についてより深く学ぶ。あかし楽実行委員が企画・運営）
- ・みんなのまなびや（寺子屋、講座、学校、先生）自らの学んできた知識や経験を活かして、活動したい人を対象に、男女共同参画・生涯学習・市民活動に関する企画を募集し、講師デビューを支援する。
- ・生涯学習に関する情報提供・コーディネート（だれでも・いつでも・どこでも・気軽に学べる種情報提供）
- ・複合型／クロスカフェ（つながりサロン、異文化カフェ）

■あかし男女共同参画センター

- ・女性のための相談室、男性のための電話相談（人間関係や家族の問題、生き方や働き方のことなど）
- ・一人ひとりの自立を促す相談・支援事業（誰もが自分らしく新たな一歩を踏み出す機会となる講座・情報）
- ・多様性に関する普及啓発事業（誰もが生きやすい社会を目指した講座やパネル展示）
- ・就労に関する事業（ハローワーク等の関係機関と連携して講座・セミナーを共催したり、起業の相談にのる。）

■あかし市民活動支援センター

- ・普及啓発事業（グループ登録団体紹介やイベント情報などホームページやメールリストによる情報交換）
- ・ウィズミーツ（市民活動団体と行政関係機関や地域まちづくり組織の相互交流）
- ・スキルアップ支援事業（地縁型・テーマ型市民活動に関わる団体のスキルアップ支援、団体の掘り起こし）
- ・各種団体、センターとのコラボ事業

資料：ウィズあかしHP、一般財団法人明石コミュニティ創造協会2019年度事業報告書、神戸新聞記事等